新ひだか町

家庭学習のすすめ

学校で学んだことをしっかりと身に付けるために家庭学習は欠かせません。毎日少しずつでも家庭学習を継続することは確かな学力の定着につながります。
お子さんの家庭学習習慣が定着し、自主的に取り組むことができるよう、ご家庭におかれましては以下の点をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

どうして家庭学習が必要なの？

○学習したことの定着のため

ドイツの心理学者、ヘルマン・エビングハウスの研究では、人間は学習後20分で４２%、1時間後は５６%、1日後に７４%、１週間後には７７%忘れるとされています。学習したことを忘れず、定着させるためには、繰り返し復習することが必要です。

そのため、学習したその日のうちに、家庭学習で復習する機会をもつことで、その日の学習内容の定着を図ることができるようになります。

さらに定期的に過去の学習を復習する機会を短時間でももつようにすると、より確かな学力の定着につながります。

○学習の習慣化のため

学年が進むにつれて高度になる学習内容を確実に身に付けるためには、低学年のうちから毎日家庭でも机に向かう習慣を付けることが大切です。毎日少しずつでも学習するようにすることが学習の習慣化につながっていきます。

○自分で学ぼうとする意欲の育成のため

学校で学んだことが身に付いていなければ、次の学習への意欲は高まりません。学校で「分かった」「できた」という体験は「学ぶ喜び」につながり、「分かったこと」「できたこと」をしっかりと身に付け、本人の自信とすることで、次の学習への意欲が高まります。

★新ひだか町教育委員会の取組★

新ひだか町家庭学習強化期間

６月と１１月の２回、実施します。学習時間や内容を意識して取り組みましょう。

新ひだか町公設学習塾の取組

隔週金曜日にリモートで行う「ウイークリー公設学習塾」（小学３年生）と、夏冬休みに集合形式で行う「夏・冬期公設学習塾」（小学３・４年生）を開設します。家庭学習の補強として活用してください。

家庭学習の内容は？

○ 家庭学習の内容・仕方

家庭学習の内容はその日学校で習った学習の復習が基本です。特に九九や英単語など反復練習が必要なものは忘れないうちに復習することが大切です。また、その上で、自分が苦手としているところ、伸ばしたいところを考えて学習を補充したり、翌日のために予習をしたりするのもいいでしょう。

家庭学習の仕方には個人による段階があります。次のとおり目標とする段階を例示しますので、参考にしてステップアップを心がけてほしいです。

ステップ１…学校からの宿題等をする。
ステップ２…学校からの宿題等に加え、自分の苦手教科や内容に取り組む。
ステップ３…（宿題がなくても）今日習った学習の復習をする。
ステップ４…（宿題がなくても）今日習った学習の復習と自分の苦手教科や内容に取り組む。
ステップ５…自分に必要な学習を的確に把握し、復習・予習など粘り強く学習をする。

まずはステップ１～２を取り組み、徐々にステップアップしていきましょう。

※１人１台端末やデジタルドリルも活用してみてください。

家庭学習の時間は？

○家庭学習時間の目安

家庭学習の時間についても個人差がありますので、下に記載の時間は目安です。お子さんの学習の様子を見ながら、その子に合った時間を決めるとよいでしょう。

学年が進むにつれて必要な学習時間は増えていきます。自分で適切な時間を決めてできるようにさせていきたいものです。

＜小学校低学年＞　２０分程度
＜小学校中学年＞　４０分程度
＜小学校高学年＞　６０分程度

家庭でできることは？

○学習しやすい環境づくり

家庭で学習に落ち着いて取り組むことができる環境づくりを、お子さんと一緒に考えていきましょう。

（例）
- 家に帰ったら、遊ぶ前に学習する。
- 学習する場所（机など）を決め、日常的に整理整頓しておく。
- 学習時にはテレビ、ゲーム、スマホ等のスイッチを切る。
- 毎日決まった時間に、少しずつでも学習する。

○アドバイスや励ましの言葉

お子さんのがんばりを認め、温かいアドバイスや励ましの言葉をかけてあげましょう。また、時には自分の力でできるよう見守ってあげることも大切です。過干渉や否定的な言葉は避けるようにしましょう。

生活習慣も見直そう！

○生活習慣・食習慣の確立

新ひだか町の子どもたちは各種調査から全国・全道と比べ家庭学習時間が短く、ゲームやインターネット等のメディア利用時間が長い、朝食の摂取率が低いという結果が出ています。

新ひだか町で取り組んでいる「家庭学習強化期間」や「アウトメディアチャレンジ」、「早寝・早起・朝ごはん」等の取組をきっかけに、規則正しい生活・食事の習慣化を目指し、家族みんなで一日の生活時間の使い方等を見直してみてください。

各学校からは、より具体的な内容が記載されている「家庭学習のてびき」が配布されています。それらをもとに取組を進めましょう！

令和８年４月
新ひだか町教育委員会